

# 12月おたより

令和5年12月号

静岡市清水うみのこセンター

TEL : 054-335-1148

FAX : 054-335-1292

Mail : shimizu-uminoko@po4.across.or.jp

				1(金)
				何でも相談
				何でも相談
4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)
職員会議	何でも相談	ラッコ1 10:00 (親子遊び)	パンダ1 10:00 (親子遊び)	あひる 10:00 (親子遊び)
特別指導	A 14:00 (クリスマス会)	B 14:00 (クリスマス会)	F1 14:00	職員会議
11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)
りす 9:45 (クリスマス会)	ひつじ 9:45 (クリスマス会)	ラッコ2 10:00 (クリスマス会)	パンダ2 10:00 (クリスマス会)	ペアレントトレーニング 10:00
何でも相談 *療育相談	E1 14:00	職員会議	C 14:00 (クリスマス会)	D 14:00 (クリスマス会)
18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)
うさぎ 9:45 (クリスマス会)	しか 9:45 (クリスマス会)	ラッコ1 10:00 (クリスマス会)	パンダ1 10:00 (クリスマス会)	あひる 10:00 (クリスマス会)
何でも相談	E2 14:00	職員会議	F2 14:00	G 14:00
25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	
何でも相談 *療育相談	何でも相談	ラッコ2 10:00 (親子遊び)	パンダ2 10:00 (親子遊び)	
年中親子遊び 14:00	何でも相談	年少親子遊び 14:00	大掃除	

## 12月の活動[クリスマス会]

今年のクリスマス会では、クッキングを行います！  
コロナ禍の間、クッキングをして食べるという活動が出来ませんでしたが、今年からは人気のクッキングを復活してクリスマス会を行います。自分で作ったおやつを親子で一緒に食べながら、楽しいうみのこのクリスマスを過ごしましょう！！



## 年末年始の休所について

12月29日(金)～1月3日(水)  
は休所になります。





## 年中児ママパパ教室を開催しました



10月6日は年中児ママパパ教室を行いました。

この時期だから悩むこと、話したいことについて、3つテーマを挙げ、意見交換を行いました。今回は、その中からいくつか話を抜粋してご紹介します！

### 〇かわいい怪獣のトリセツ～言いたいことが、うまく言えない子たちへ～

・言いたいことが言えずに、ことばが出てくるまでに時間がかかり、癩癩になってしまうことがあった。今は落ち着いて待つと、癩癩になる事もなくなった。「イヤだ」「気分がのらない」が言えず、怪獣になってしまうのかと感じている。

・「イヤ」しか言えない時は、疲れた時や眠い時が多い。そうでない時は理由が言える事もある。なので、そういう時は体調を整えることにしている。

### 〇かわいいカタツムリのトリセツ～やりたいけれど、自信がなくてやらない(やれない)子たちへ～

・本人がやりたいことに対して、ちょっとずつ挑戦することが出来ない。上手くできないとすぐにやらなくなってしまふ。

・失敗することが恥ずかしい様子だが、友達の動きを見て覚えている姿があった。そうしている間に、ある日突然出来るようになることがあり、見守る様にしている。

・運動会の練習では、友達が誘うと参加できている様子。親が言うよりも、友達が誘う方が子どもには響くように見える。

・自分の意志で、やってみようと思う方が、やってみたいと思しやすい。子どもの中でタイミングがあるので見守る事が大切。(スタッフより)

### 〇かわいい打ち上げ花火のトリセツ～やっちゃいけないと分かっているけれど、手が出てしまう子たちへ～

・食べ物を細かくちぎってしまう姿がある。親としてはやってほしくない。しかし「ごめんね…僕はやりたいんだ」「好きな食べ物をちぎると)いっぱいになるからやりたい」と言っていた。理由を聞いて、今は仕方がないのかもしれないと思う様にしている。

・家だったら良いけど、外ではやってほしくないという事への加減が難しい。

・ボタンを押したいという衝動を抑えられないことがある。お店の呼び鈴やトイレの非常用ボタンを押したり、エレベーターのボタンを誰か押すかで、兄弟喧嘩になる。理解が深まり体も大きくなったため、他へ気をそらしたり、抱っこで離れる等の誤魔化しが効かず、対応が難しいと感じる事がある。

・やりながら学んでいくことも大切。“やったら恥ずかしい”という気持ちが芽生えてくるとやらなくなっていく。それが来るのはもう少し先の時期で、どの子も今ではない。(スタッフより)

自分の思いが中心の年少さんから、周りの状況を考えられる時期に差し掛かるのが年中さんです。成長の転換期ということもあり、自分の思いを通したい気持ちと、周りの気持ちに応じなければという気持ちで、強く葛藤する時期でもあります。そんな葛藤する様子と、どう対応しているのかについて、たくさん話を伺うことが出来ました。



## 9月のみんなでほっとする会 [テーマ：気持ちのコントロールについて]

9月8日(金)のみんなでほっとする会は「気持ちのコントロール」というテーマで行いました。

今回のテーマに対して、親側は怒りの気持ちをどの様にコントロールをしているのか？子どもへどう関われば良いのか？という話が多く聞かれました。

日々時間に追われ、予定が組めずに子どもを急かしてしまう。急いでいる時に限って、子どもが癩癩を起こしてイライラしてしまう。子どもは、叱るよりも褒める事が大切と言われるが、どこを褒めたらよいのか？兄弟で表われや、関わりポイントの違い、戸惑ってしまう。実家の家族から理解が得られず、偏見を持たれてしまうため、伝え方が難しくイライラしてしまう等、日々感じている事や葛藤を率直に話して頂きました。

兄弟に対して同じ様に大切にに関わりたい気持ちはとても大切です。しかし、親と子どもだけ、それぞれ別人格なので、関わりやすさはあります。みんないきなり完璧な親になれるわけではありません。親も子育てを経験していく中で、親になっていきます。

あるお母さんからは”家族は近い関係だからこそ、伝わりにくさに対してイライラしてしまう事がある。関係が近いからこそ、お互いへの思いが強く、出し過ぎてしまうこともある。関わってもらって助かる事もあるが、逆に「何で?!」と思う事もある。それはこちらの捉え方で変わってくるので、都合よく良いとこどりをして、苦手な事を流す様にしてから、気持ちが楽になった”と聞かせて頂きました。

気持ちをコントロールする上で、相手の感情をコントロールする事は難しいです。まずは捉え方を変え、自分の気持ちを調整するという事も良い方法ですね！

うみのこセンターのおたよりは、ホームページから閲覧することが出来ます。予定の確認等にご活用下さい。各行事のお知らせや、活動報告等も随時掲載していきます。しみず社会福祉事業団のトップページより、新着情報にて最新のおたよりをご確認出来ます。

うみのこセンター おたより

